12月号

愛知県同胞援護会だより

第425号
令和5年12月1日発行

保見の里「運動会」

目次

特集：若草苑地域交流会・内定者交流会…… P.2
特集：健康レシピ …… P.3
春緑苑 …… P.4
第2春緑苑 …… P.5
とよた苑・東山デイサービス …… P.6
第2とよた苑・保見の里 …… P.7
大府の郷・若草苑 …… P.8
春日苑・ワーカー鷹来 …… P.9
サンホーム豊田・さくら保育園・さくら第2保育園 …… P.10
支えていただいた方々 …… P.11
特集：見てみて!作品紹介 …… P.12

若草苑 地域交流会

10月7日（土）、若草苑で地域の方との交流の場を設けたいということで、「第1回ボッチャ交流会」と「犬猫譲渡会」を開催しました。

「ボッチャ」は、ヨーロッパで生まれたスポーツで、ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ6球ずつのボールを投げ、いかに近付けるかを競う競技です。パラリンピックの正式種目でもあり、年齢・性別・障がいの有無に関わらず、すべての人が楽しむことができます。交流会では、ボッチャを通して子供たちと利用者さんが楽しそうに会話をしたり、ナイスプレーにみんなで拍手をしたりと盛り上がりを見せていました。

午後からは、犬猫保護団体「保護っこ基金」様と「ねこの歩添道」様の協力のもと、「犬猫譲渡会」を開催しました。施設としては初めての取り組みでしたが、小さな「命」を守るために一生懸命活動されている保護団体の方々の協力ができたことは、非常に貴重な体験でした。譲渡会には多くの来苑者が来られており、犬1匹と猫1匹に声がかかり、トライアル※に出ることが決定しました。

地域の方々、ボランティアのみなさんにもご協力いただき、今回の交流会を開催することができました。今後も継続して地域との交流の取り組みを実施していきます。

※里親募集されている保護犬・保護猫との相性を見るために、一緒に暮らしてみる期間のこと

内定者交流会

11月3日(金)、令和6年4月採用内定者を対象とした「交流会」を行いました。
当日は12名の内定者が参加し、ゲームなどを通じて交流を深めました。

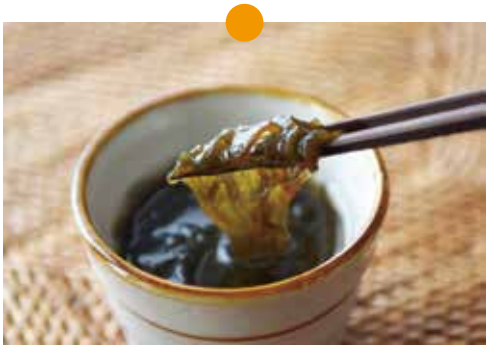
優勝チーム
高いタワーができました！

ストロータワーを
作るゲームを行いました

健康レシピ

ケアハウス豊田　管理栄養士
水谷瞳

つるんとおいしい！もずく丼



とよた苑、ケアハウス豊田の利用者さんに人気のメニュー「もずく丼」をご紹介します。

一般的に市販されている「もずく」は、ほぼ沖縄県で生産され、旬は4月から6月です。独特のぬめりとツルンとした食感があるため、食欲がない日でも喉の通りが良く、冷やしても加熱してもおいしく食べられます。

栄養面で最も特徴的なのは、「フコイダン」という食物繊維が多く含まれていることです。フコイダンは、もずくのぬめり成分で、余分なコレステロールやナトリウムを排出し、血圧や血糖値の上昇を抑える働きがあります。また、腸内環境を整えることにより、免疫機能を高め、便秘改善にも効果があります。

酢の物はもちろん、汁物や天ぷら、卵焼き等、手軽に調理して日々の食事に取り入れてみてください。

●材料	（1人分）	（4人分）
もずく	50 g	200 g
豚ひき肉	30 g	120 g
たまねぎ	20 g	80 g
にんじん	10 g	40 g
コーン	10 g	40 g
おろし生姜	1 g	4 g
あさつき	3 g	12 g
紅生姜	適量	適量
サラダ油	0.5 g	2 g
しょうゆ	6 g	24 g
みりん	3 g	12 g
砂糖	1.5 g	6 g
料理酒	0.5 g	2 g
片栗粉	0.5 g	2 g

作り方

1. もずくは食べやすい長さに切る。(短めがよい)
2. たまねぎ・にんじんはみじん切り、生姜はすりおろす。
3. 鍋に油をひき、豚ひき肉を炒め、火が通ったらたまねぎ・にんじん・コーン・おろし生姜を加えてさらに炒める。
4. もずくを加えて調味料で味付けする。
5. 水溶き片栗粉でとろみをつける。
   ※水分が足らなければ水で調整する
   ※お好みでにんにくやごま油で風味を付けてもよい
6. 炊いたご飯の上にかけて、あさつきと紅生姜を飾る。

春緑苑

特別養護老人ホーム

白熱した運動会

10月17日(火)、「運動会」を開催しました。

フロアごとの対抗戦で、「玉入れ」「風船バレー」「綱取り合戦」「モグラたたき」の4つの種目を行いました。

「モグラたたき」は、職員が工夫を凝らし、座ったまま楽しめるように手作りしました。ヘルメットをかぶったモグラ役に、狙いを定めてハンマーが勢いよく振るわれ、スピードが速まるターンでは「速い速い！」と、笑いながら一生懸命にモグラを叩いていました。

どの種目も大盛り上がりで、笑顔あふれる運動会となりました。

モグラだ！叩け～！

デイサービス

運動は爆発だ！

10月23日(月)、「運動会」を開催しました。

「太陽の塔玉入れ『運動は爆発だ！』」と題した玉入れでは、題名のとおり太陽の塔を模したモニュメントに向かって玉を投げ入れて点数を競いました。職員の手作りによる太陽の塔は圧巻の大きさでしたが、みんなでたくさんの玉を投げ入れたので、塔が横転するハプニングもあり、大いに盛り上がりました。

その他にも、「運試し　パン釣り競争」「輪回し競争」などの競技や、職員による「ジェンガ」などもあり、どの種目も大盛況でした。

利用者さんの笑顔や真剣な表情がたくさん見られ、賑やかで楽しい運動会となりました。

趣向を凝らした競技を楽しみました

ケアハウス

冬のオーナメント作り

秋も深まり、朝晩はめっきり寒くなりました。もうすぐクリスマスの時期ということで、ケアハウスでは利用者のみなさんが声をかけ合って、「冬のオーナメント作り」を行っています。

クリスマスを代表する花といえば“ポインセチア”ですが、ポインセチアの飾り作りは、真っ赤な紙を折ったり、切ったりと工程が少し複雑です。みなさんそれぞれに得意なことを役割分担し、協力して制作に取り組んでおられます。

職員が立ち寄って様子を見に行くと、「あなたも1つやってみなさい」と、作り方を伝授してくださる方もいらっしゃいました。

素敵な飾りでフロアが彩られるのを、今からとても楽しみにしています。

着々と出来上がっています♪

福祉用具

国際福祉機器展＆フォーラム

10月27日(金)から29日(日)に東京ビッグサイトで開催された「第50回国際福祉機器展＆フォーラム」に参加しました。

この機器展では、高齢者や障がい者の方の日常生活の自立促進と社会参加のための福祉機器等が多数展示されており、各社の新商品の説明をメーカーから直接受けることができて、大変勉強になりました。

メーカーの技術力もさることながら、高齢者や障がい者の方々の「あったらいいな」を限りなく取り込み、まさにかゆいところに手が届くような機器ばかりで、日本人特有の“おもてなしの精神”が、こうした面でも活かされているという印象を受けました。

来場者の中には、一般の方も多く見られ、改めて注目を浴びている分野なのだと感じました。今回の機器展で感じたことや学んだことを、今後の提案に活かしていきます。

第2春緑苑

特別養護老人ホーム

秋の味覚フェア

10月6日(金)、「秋の味覚フェア」を開催しました。

秋といえば「読書の秋」「芸術の秋」など、いろいろな秋が思い浮かびますが、やはり一番は「食欲の秋」です。ということで、旬の食材である〝秋刀魚〟と〝松茸ご飯〟を利用者さんに召し上がっていただきました。

秋刀魚の香ばしい香りがフロアに広がると、みなさんの食欲をそそり「おいしい！」「今年初めて秋刀魚食べたわ」「松茸いい匂い」と、大変喜ばれていました。

おいしい秋刀魚と松茸を堪能していただいた後は、秋のデザート「栗きんとん」をご用意し、秋の味覚を存分に味わっていただきました。

とってもおいしいよ～♪

ショートステイ

秋味のおやき

10月11日(水)、おやつ作りのレクリエーションで「リンゴとサツマイモのおやき」を作りました。

細かくすり潰したリンゴとサツマイモに、小麦粉とグラニュー糖を加え、形を整えたものをホットプレートで焼き上げました。

すり潰す作業が少し大変でしたが、もちもちのおやきが完成し、口にすると「潰すのが大変だったけど、甘くておいしいね」と、満足そうな表情でおっしゃっていました。

甘くて良い香りが広がります

デイサービス

お化けカボチャで大玉送り

10月31日(火)、定期的に開催している「イベントウィーク」で、ハロウィンにちなんだゲームを行いました。

2チームに分かれて、『バウンドしてくっつけろ！くもの巣ゲーム』と『お化けカボチャで大玉送り』のゲームを行いました。『お化けカボチャで大玉送り』では、カボチャに見立てた大玉を順に隣に流し、いかに早くゴールまで運べるかを競いました。みなさん夢中になって大玉をつかんで隣に渡し、ゴールすると「どっちが勝ったの？」と、勝敗が気になって仕方ない様子でした。

ゲーム後には、「すごく楽しかったよ」と笑顔で話され、季節のイベントを楽しんでおられました。

大きなカボチャですね

職員随想

特別養護老人ホーム　事務員
石川章和

水流岩壁を穿つ

昨年の転勤を機に、バイク通勤を始めました。せっかくなので、学生時代からの憧れだった大型バイクの免許も取得し、天気の良い休日は気の向くままに出かけています。

いろいろな場所を巡っていますが、特にお気に入りなのは飛騨川です。本流の峡谷は厳としてそびえ、支流は青く澄み渡り、森深くへと誘います。何万年もかけて谷川が岩盤を削った谷間や、不思議と懐かしい山あいの村落もあり、自然の雄大さと、それに負けない人々の努力の結晶を目の当たりにするようです。

七宗町「そらふさがり」。
空が隠れてしまうような岩の間の道です。

とよた苑

特別養護老人ホーム

美しい音色に酔いしれて

10月27日(金)、「ポトフ」様による「出前コンサート」を開催しました。

新型コロナウイルスの流行後、初めてのボランティアの受け入れとなり、みなさん非常に楽しみにしておられました。

今回のコンサートでは、バイオリンとピアノでベートーヴェンやブラームス作曲の名曲が演奏され、美しい音色を生演奏ならではの迫力で感じることができました。

「ピアノの演奏は素敵だったし、バイオリンの音色も何とも言えなかった！」と、利用者さんも大絶賛で楽しんでおられました。

素敵な音色にうっとり・・・

デイサービス

あま～い綿菓子はいかが？

手についちゃった(#＾ｖ＾#)

利用者さんが楽しみにしている時間のひとつに、午後3時のおやつの時間があります。この日は、綿菓子の機械を準備して、出来立ての綿菓子を召し上がっていただきました。

職員が棒をくるくると回して綿菓子を作ると、「綿菓子なんて懐かしいねぇ」と、みなさん楽しそうに眺めながら完成を待っておられました。

フロア中に甘い香りが広がり、ふわふわの綿菓子が出来上がると、「甘くておいしいね」「早く食べないと溶けちゃいそうだよ！」と、みなさんうれしそうに召し上がっておられました。

ケアハウス

秋の恒例行事

10月21日(土)、毎年の恒例行事「サツマイモ掘り」を行いました。

今年は12名の利用者さんが参加してくださり、くわやスコップで掘り起こしながら「これが一番大きいかな！」「こっちも鈴なりだよ」と、賑やかに作業が進みました。

収穫して食べるまでがお楽しみ、ということで10月31日(火)の喫茶で「焼き芋」にして召し上がっていただきました。

出来立ての焼き芋は、焼き加減も甘さもすべて抜群で、「甘くておいしい！」「やわらかくて食べやすいね」と大好評。秋の実りを存分に堪能することができました。

見てみて！鈴なり！

東山デイサービス

スポーツの秋！

どの競技も大盛り上がりでした！

10月8日(日)から10日(火)までの3日間、秋のビッグイベント「運動会」を開催しました。

勝負事となるとみなさん真剣そのもので、赤組と白組に分かれて白熱した戦いが繰り広げられました。

「玉入れ」では、籠を支える職員に玉が当たろうがお構いなしで玉が飛び交い、「応援合戦」では「フレー！フレー！」と、ポンポン片手に大きな声援が送られていました。

コロナ禍で自粛していた「パン食い競争」も久々の復活です。手が出てしまいそうなところをグッと我慢し、大きな口でパンをパクリ。みなさん全力で競技を楽しみ、スポーツの秋を笑顔いっぱいで楽しんでおられました。

第2とよた苑

特別養護老人ホーム

楽しみにしていた外出

10月24日(火)、「鞍ヶ池公園」へ出かけてきました。コロナ禍で外出が制限されていた期間が続きましたが、利用者さんから「外でのんびりお茶がしたい。公園に行きたいな」という希望があったため、計画した企画です。

当日は外出日和で、公園をゆっくりと散歩することができました。散歩の後は、カフェで好きな飲み物とケーキを頼み、「外でお茶ができるなんて幸せだわ」「最高の1日」と、みなさん景色を眺めながら満面の笑みで召し上がっておられました。

これからもいろんなところに出かけましょうね♪

食欲の秋 ～秋祭りに五平餅焼き～

10月19日(木)、「秋祭り」を開催し、焼き立ての「五平餅」を利用者さんに召し上がっていただきました。

第2とよた苑では、五平餅の提供は初めての試みです。目の前でふんわりと焼き上がった五平餅の香ばしい匂いにみなさんうっとりとした様子で、焼き立てを召し上がると「甘めの味噌がええなぁ」「アツアツだから余計においしいね！」と、大満足のご様子でした。

アツアツでおいしい！

焼いている様子も
楽しんでいただきました♪

ディサービス

玉転がしで大盛り上がり！

10月9日(月)、「運動会」を開催しました。

紅白の2組に分かれて、4種目の競技に取り組んでいただきました。どの競技も白熱しましたが、特に盛り上がったのが「玉転がし」です。所々に穴の開いた大きな布をみんなで持ち、その上にボールを転がして穴に落ちない様にゴールまで運ぶというルールで、普段は穏やかで口数が少ない利用者さんも、「玉が落ちる～！」「あと少しでゴール！」と、楽しそうに参加されていました。

運動会終了後に感想を伺うと、「みんなで協力することが楽しかった」と、みなさん口々におっしゃっていました。

チームワークが大切です！

保見の里

秋の味覚を堪能

10月27日(金)、おやつクラブで「スイートポテト」を作りました。

職員がふかしたサツマイモを、利用者さんが「おいしくなれ～」と、マッシャーを握る手に力と願いを込めて潰してくださいました。潰したサツマイモを成形し、オーブンで焼き始めると、おいしそうな香りが漂って期待も膨らみます。

完成したスイートポテトを一口頬張ると、みなさんから自然と笑みがこぼれ、秋の味覚を堪能するひと時となりました。

おいしくな～れ～

大府の郷

特別養護老人ホーム

元気に過ごしたい

Nさんは、よく楽しそうに若かり し頃の話をされます。特に、学生時代にソフトボール部と水泳部に所属されており、その部活動での思い出話を身振り手振りを交えて話してくださいます。

そんなNさんに楽しんでいただけたらと、ソフトボールを投げるのは難しいので、ボウリングのレクリエーションを行いました。

勢いよくボールを転がし、ピンを倒していくNさん。「やっぱり身体を動かすことが好きだわ」と、笑顔で話され、「いつまでも元気に過ごしたい」と、意気込んでおられました。

身体を動かすって楽しいですよね♪

デイサービス

感動の再会

デイサービスでは、様々な再会の場面があります。職場の同僚、疎遠になっていた友人、昔のご近所さんなど、デイサービスで名前を見て「もしかして○○さん？」と、再開を喜ばれている風景を見かけます。

この利用者さんたちは、昔のご近所さんであり、元同僚でもあるお二人で、約50年ぶりに再会されました。日中過ごす部屋が違うため、帰宅する前に寄り添ってお話をされ、「次も頑張って来るんだよ。また会おうね」と声をかけ合います。

デイサービスを利用してくださったことで再開し、その喜びを共有することができて、私たち職員も幸せな気持ちになります。

心温まるひと時です

居宅介護支援事業所

新たな目標へ

Mさんは、脳腫瘍の後遺症からベッド上での生活になってしまいました。退院後、訪問看護による清拭とリハビリ、介護ベッドなどのレンタルを利用されましたが、後遺症で脳への僅かな振動でも嘔吐を繰り返してしまい、利用者さんが希望される歩行訓練と入浴はとても難しいものでした。

それでもリハビリを継続し、3か月経った頃には歩行器で5mほど歩けるようになりました。

次の目標は「湯船につかる」こと。訪問入浴を利用することで脳への振動を抑え、嘔吐することなく入浴ができました。ひとつずつできることが増え、次の目標は「釣りをする」ことに。

これからもMさんの努力と多職種の連携により、新たな目標に挑戦し続けていきたいと思います。

若草苑

学生さんと余暇活動

10月2日(月)から6日(金)までの5日間、愛知淑徳大学の学生5名が実習で来苑し、利用者さんと交流を行いました。

期間中は、利用者さんと一緒に畑仕事をしたり、作品作りなどを行いました。

畑での作業中には、収穫予定のサツマイモの食べ方について「焼き芋がいいか、鬼まんじゅうがおいしいか」と、想像を膨らませて談笑したり、きれいに咲いた花を収穫して学生にプレゼントする場面も見られました。

作品作りでは、枝が描かれた紙に指で葉っぱを描き入れ、木のイラストを制作しました。直接指で絵の具を触るという何とも言えない面白さに、みなさん学生たちと一緒に和気あいあいと制作を楽しんでおられました。

フィンガーペイントを行いました

春日苑

マクドナルドのハンバーガーが食べたい

10月3日(火)、恒例行事の「デリバリーイベント」を行いました。

利用者さんが食べたいものをデリバリーで注文し、召し上がっていただくイベントです。「マクドナルドのハンバーガーが食べたい！」と、いろいろな種類のメニューの中から好きなものを注文し、満面の笑みで召し上がる姿や、普段は職員の支援が必要な方がご自分でハンバーガーを持ち、おいしそうに頬張る姿など、利用者さんのうれしそうな姿をたくさん見ることができました。

食事は施設での楽しみの一つなので、今後も利用者さんに楽しんでいただける企画を実施していきます。

マック大好き！

口腔ケアの大切さ

9月27日(水)、いつも利用者さんの歯を診てくださっている「ももの木歯科」から歯科衛生士さんに来ていただき、「口腔ケア研修」を行いました。

研修では、歯に歯ブラシをあてる角度や強弱、持ち方などを教えていただきました。また、歯の健康を守ることは、歯だけにとどまらず、誤嚥性肺炎の予防になったり、"話す・"歌う"といった生きる楽しみと深く結びついていることなども学びました。

参加した職員からは、「改めて歯みがきの大切さを認識することができた」といった感想もあり、研修で学んだことを今後の利用者さんの支援に活かしていきます。

基本をしっかりと学ぶことが大切ですね

障がい者生活支援センター

ユニバーサルデザインを広めよう

「ユニバーサルデザイン」は、障がいを特別視せず、あらゆる人が公平で快適に暮らすことができるデザインとして提唱されました。私たちが何気なく目にしているもの(多目的トイレ、音響式信号機、スロープなど)や、普段使用している物の中にも凹凸や色彩でわかりやすくしているものが増えてきています。

このように身の回りにも浸透してきてはいますが、更なる普及には課題も多くあります。まずは自分とは異なる人たちを知り、理解することや、困っている人には声をかけるなど、できるところから始めていけるといいですね。

春日苑障がい者生活支援センター
(0568)88—7637
E-mail:kasugasien@douen.or.jp
担当　水野・正木・美和・池戸・長尾

ワーカー鷹来

秋のハロウィン運動会

10月27日(金)、「第1回秋のハロウィン運動会」を開催しました。

赤組と白組に分かれて、仮装をした利用者さんが「玉入れ」「綱引き」「パン食い競争」の3種目を競いました。

「綱引き」では、それぞれに力の限りを尽くして綱を引っ張り、両者譲らぬ接戦が繰り広げられました。赤白対抗戦の後は、職員対利用者さんの試合も行い、大いに盛り上がりました。

最後は、保護者の方にも参加いただき、「パン食い競争」を行いました。みなさん上手にパンを取ることができ、保護者の方からも「楽しかった」といった声をいただくなど、初めての運動会は大成功で幕を下ろしました。

白組の勝利でした！

サンホーム豊田

芸術の秋

サンホーム豊田では、毎週「美術クラブ」を開催していますが、今まで以上に利用者さんの個性豊かな作品を制作していただきたいという想いから、今回初めて「芸術週間」を設定しました。

「芸術週間」では、日本の良き「四季」と、豊田市のシンボル「豊田スタジアムと花火」の2つのテーマで作品の制作を行いました。みなさん楽しそうな表情で「こんな感じでいいかな？」と話し合いながら、素敵な作品が完成しました。

完成した作品は、12月2日(土)から豊田市民文化会館で開催される「障がい者作品展」に出展する予定ですので、よろしければぜひご覧ください。

みなさん楽しそうに制作されていますね♪

魔女に変身

10月31日(火)の「ハロウィン」に向けて、ハロウィンの絵の制作を行いました。

大きな模造紙を、全面華やかなオレンジ色に塗ったら、「Ｈａｌｌｏｗｅｅｎ」の文字と、黒い帽子を被って魔女に変身した利用者さんたちの顔を描き入れました。

オレンジに黄、青、緑などのカラフルな絵画の完成に、みなさんとても満足そうにしておられました。

どんな絵にしようかな？

ハロウィンの絵の完成！

さくら保育園

園庭にキッチンが完成！

おままごとが大好きな園児たちが外遊びで使えるようにと、保護者の方々に寄付でいただいた本物の調理器具を使い、園庭に「キッチンコーナー」を設置しました。

完成したキッチンコーナーを見て、「お家にもこれある！」と大喜びの園児たち。うれしそうにボウルや泡だて器などの調理器具を持ち、早速料理に取りかかりました。

まずはボウルに砂を入れて混ぜ、ままごと用の食べ物や石を具材に見立てたカレーが完成。デザートにはクローバーやどんぐりをトッピングしたケーキが出来上がりました。

ごちそうが完成すると、机にランチョンマットを敷き、料理を配膳して準備完了です。手を合わせて元気良く「いただきます！」の合図とともに、お友達とパーティーを開いて楽しんでいました。

お料理大好き！何を作ろうかな

さくら第2保育園

楽しく交通ルールを学ぼう

10月19日(木)、年長組の園児が「交通児童遊園」に出かけました。

園内では実際に自転車に乗り、道路を走行しました。始めは少し緊張した様子も見られましたが、信号機を見ながら「止まれ」「進め」を判断し、楽しく交通ルールを学ぶことができました。

自転車の他にも、展示されているＳＬ機関車を見学したり、踏切を渡ったりと、楽しい時間はあっという間に過ぎ、「また来たいね！」と、大満足の表情で話していました。

ＳＬ機関車と記念撮影！

秋の褒章「藍綬褒章」受賞

11月3日（金）、令和5年秋の褒章受章者の発表があり、当法人の評議員である鳴海志朗氏が、社会に貢献した功績がたたえられ、「藍綬褒章」を受賞しました。

支えていただいた方々（敬称略　順不同）

春緑苑

【特養】

寄付金
- 山本浦子
- 前川実香

ボランティア
- 武内喜代子
- 塚田美智子
- 近藤登美子
- 一ノ谷君子
- 赤坂千秋
- 山本浦子
- 前川実香

【デイ】

寄付物品
- 打田こう

春日苑

ボランティア
- 酒井カイロプラクティック

ワーカー鷹来

ボランティア
- 立山哲男
- 風間公一
- 安藤八栄美
- 小平嘉津子
- 島津たつ子
- 西田利秋

さくら保育園

寄付物品
- 矢野彩乃
- 川嶋絵里奈
- 原口礼
- 畑菜摘
- 織田澤沙弥果
- 小川啓恵
- 嶋田昂平
- 三輪友美
- 大島愛
- 松田絢美
- 清水愛里

とよた苑

寄付金
- 高岡徹
- 加藤隆幸

第2とよた苑

【特養】

寄付物品
- 森眞美子
- 小倉ナル

ボランティア
- 中條ひとみ
- 中條厚子
- 市川貴代美
- 毛受秀子
- 荒川さつき
- 藤井玲子

保見の里

ボランティア
- 藤井玲子
- 市川貴代美
- 荒川さつき
- 中條厚子
- 中條ひとみ
- 毛受秀子
- 齋場昌子
- 熊谷洋子

若草苑

寄付物品
- 愛知淑徳大学
- 保見ケ丘支援センター
- 中川保険

ボランティア
- 梅坪台中学生
- トヨタSX会
- 保護っこ基金
- ねこの歩添道
- 麦の会

サンホーム豊田

寄付物品
- 深津久美子
- 高須勝枝

大府の郷

ボランティア
- 亜友和会
- 春夏秋冬
- 大府花まつり

新人職員紹介

11月1日付

①職種 ②趣味・特技 ③自己PR

特別養護老人ホーム 春緑苑

平小瀬正美

①看護職員
②読書
③年齢に負けず、経験と笑顔で頑張ります。

特別養護老人ホーム 第2とよた苑

久野耕助

①生活相談員
②バスケットボール
③何事も全力で頑張ります。

見てみて！作品紹介

～ケアハウス春緑苑～

「多肉植物クラブの鉢植え②」

「レジンのキーホルダー」

「キャラクターの鉢植え」

「多肉植物クラブの鉢植え①」

「小物入れ」

「レジンのペンダントトップ」

職員エッセイ 第9回

保見の里
副施設長
柴田裕子

東京オリンピック招致の際のプレゼンテーションで「おもてなし」という言葉が流行しました。当時、おもてなしの心をもってお迎えするということに、共感し感銘を受けたことを覚えています。

先日、玄関の花瓶に“ハロウィンのカボチャ飾り”をちょこんと飾りました。すると、帰省した2人の娘たちが飾りを見つけ、「月見の次はハロウィンか！」「次はもうクリスマス？」と、笑顔で話していました。それを聞いて、まだ子供たちが幼い頃、一緒に正月や節分、ひな祭り等々、1年を通して行事ごとに飾りつけを楽しんでいたことを思い出しました。当時、そうすることで暮らしの中に季節を感じてほしいと思っていたのです。

今、私は花壇で季節の花を育てたり、規模は小さくなりましたが、昔子供たちと楽しんだ季節感を大切にしたしつらえを一人楽しんでいます。「おもてなし」とまでは程遠いかもしれませんが、我が家を訪れてくださるすべての方々に、少しでも喜んでもらえる様な「おもてなし」を、自分なりに工夫し過ごしています。

社会福祉法人 恩賜財団 愛知県同胞援護会

法人本部　〒487-0031　愛知県春日井市廻間町703-1
TEL：0568-88-8302　FAX：0568-88-0306
E-mailアドレス：info@douen.or.jp　HPアドレス：https://douen.or.jp

ホームページでは
スタッフ日誌を更新中です！